

Ibaraki の

第7号 2014年1月発行

ふうあいおたより

Fu Fukushima と

福島と茨城の人と人、心と心をつなぐ

ふうあいおたよりは福島県の補助によって発行されています。発行 ふうあいねっと

震災と原発事故により福島県から茨城県に避難されている方々をサポートするためのネットワーク組織です。

〒310-0022 茨城県水戸市梅香2-1-39 茨城県労働福祉会館2階
 ☎ 029-353-8560 FAX 029-300-4320 eメール fuai.sta@gmail.com
 ブログ <http://fuai.hatenablog.com/>
 facebook <https://www.facebook.com/fuainet?ref=hl>



- p.2-3 子どもと船
- p.4 人から人へ
- p.5 イベント一覧
- p.6-7 行ってきましたー。
- p.8 茨城お散歩
- p.9 んだったのか!?
子どもの健康と放射能
- p.10 茨城に暮らす皆さんに聞きました!
編集後記

次号表紙を飾る
福島県の写真を大募集しています。

双葉町のダルマ市
江戸時代から300年以上続く正月の伝統行事。双葉ダルマをはじめとした各種ダルマの販売や今年の運勢を占う巨大ダルマ引き合戦縁起物のダルマや豊作を祈る飾り物などたくさんの露店が並びます。(写真: 双葉町提供)

子どもと船

「明日へつなぐ船」で子どもたちが考えたこと



12月25～28日に開催された「明日へつなぐ船」には避難経験のある小5～中2の14人の子どもたちが参加しました。大洗港と苫小牧港の往復の船内と札幌滞在の3泊4日の中で、福島や自分たちの想いを語り合うこの企画では、「みんな同じだったんだ」とお互いに避難体験を話し合ったり、福島や家族について考えたり、思いっきり遊んだりしながら「つながり合う」滞在となりました。

(ふうあいねっと事務局・明日へつなぐ船実行委員 天井)

12月25日(水)

- 15:30 大洗港集合
オリエンテーション
大洗港周辺散策
- 17:10 さんわらわあ さっぼる乗船
- 18:00 夕食(バイキング)
- 20:00 洋上研修
「お互いを知る時間」

御当地キャラ「アライッペ」が見送り



夕食バイキング
なに食べよっかな。

会津に歴史がたくさんある。

海に山に自然が豊かな。

福島は親切な人が多い。

食べ物が美味しい。



住み慣れた場所だ。

お互いを知る時間

夜ノ森の桜がとても美しい。

12月26日(木)

- 7:30 朝食(バイキング)
- 9:30 船内見学
洋上研修
「相双地区の現状や過去の災害を学び・考える」
- 12:00 昼食
- 13:30 苫小牧港着(札幌へバス移動)
- 16:00 札幌市内ホテル到着
- 16:30 みちのく会 本間さんのお話
「北海道での出会いやつながりを知る」
- 18:30 サッポロ・ビール園でジンギスカン
- 20:00 大通公園で雪合戦
- 21:00 ホテル到着

相双地区の現状や過去の災害を学び・考える



福島に戻りたいという気持ちを大切にしていきたい。

福島を災害に強く丈夫に住みやすい町にしたい。

みんなで助け合っていける町にしたい。

嫌だったこと、怖かったことも含めて震災のことを語り継いでいきたい。

双葉郡はまだひどい状況が続いているんだな。

札幌へ避難してから
いるんな出会いの中を過ぎてきました。
みんなはどう?(みちのく会 本間さん)



ジンギスカンおかわり!!



白熱の雪合戦。

12月27日(金)

- 7:15 朝食
- 8:30 ホテル出発
- 9:30 札幌ドーム施設見学と交流
- 12:00 ラーメン共和国で昼食
- 13:15 JRタワー見学
- 16:00 ウトナイ湖で雪合戦
- 16:50 苫小牧港着
- 17:30 さんわらわあ ふらの乗船
- 18:00 夕食
- 20:00 自由詩朗

あのビッチャー球はやっ



風のサインだ~!!



雪にダイブ!!



雪合戦再び!!



ラーメン共和国
どこの店に入ろうかな。



お絵描きやトランプで
盛り上がりました。



12月28日(土)

- 7:30 朝食(バイキング)
- 9:30 相双地区海岸眺望
テーマごとに話合い
- 12:00 昼食(バイキング)
- 14:00 大洗港着
- 14:30 解散式

発電所があんな近くに見える。



外から見ると普通なのにまだ帰れないんだ。

放射能がうつるといじめられたことがあった。

今は積極的に仲良くしてくれる。

福島のことには言わないようにしているんだ。

前は一緒に住んでたけど、今は別々。

震災前は別々に住んでいたけど茨城で一緒になった。

放射能のことは最初は話したけど最近はあまりしない。

福島に帰るか親は迷っているみたい。

今、住んでいる場所の近くに住みたい。

原発のことを気にせず、みんなで笑って暮らしたい。

税金を復興に使わず無駄なことに使っていると思う。

子どもの意見を聞いてほしい。

良い大人は人のことを考え、マナーを守れる人だと思う。



スタッフから

自分の出身地を誇れるように福島が復興しなければ。

どんな「大人」「社会」が子どもたちにとって良いか考え良くしていきたい。

普段なら話しづらいことや話せていなかったことを話合える場を持てて良かった。

このページを作成する際、1月初旬のおたよりの編集会議で『子どもたちと「将来の話」や「夢」の話はしなかったの?』という話になりました。実際、開催前には聞き記事にしたいと思っていたのですが、子どもたちと過ごしてみると『「将来のこと」より、悪いことや良いことを含めて「震災から今までのこと」をまず、ちゃんと話し合った方が良さそう』と乗船スタッフで共通認識が生まれ、「震災から今までのこと」を中心に共有する時間を大切にしました。「また、集まりたい」という声も多いため、今度会う時には「将来の話」を聞きたいと思います。

人

か

ら

人

へ

古内 杏奈さん 南相馬市から日立市へ



みんなで肌のあれこれを楽しくおしゃべり中♪

私はママ会で出会ったママに温かい言葉を頂き、みんな頑張ってるんだ！私もしっかりしなくちゃ！と思いついたばかり。正しい答えや選択なんて、人生にはないんだと気づきました。現在はメイクアップのライセンスを生かし、メイク講師や震災・母子支援メイクボランティア活動を行っています。日々を大切に、なるべく人を思いやり、出来る事を頑張っていきたいと思っています。



「参加者さん自身が明日、自分でもできるよに」を心掛けてレッスンしています☆

私は原発事故後転々と避難をした後長男の小学校入学を機に家族5人で日立へ避難。2012年2月「被災者ママの会（現・ママ会）」を立ち上げ、同じ立場のママ同士が子連れで気軽に集まり話せるサークルを定期的に開いています。元気を取り戻したつもりが、日々の出来事に一喜一憂し、自分らしさを見失う時も最近感じます。みなさんは大丈夫でしょうか？



メイクレッスン中の古内さん



金久保 峯子さん 榎葉町から鹿嶋市へ



「福島ならはの風」のメンバーです！！

「駅伝は友好の懸け橋」だと思えます。お世話になった方から受け取ったタスキを鹿嶋の方につなぐことができ、今回は、新たなメンバーを加え、一歩前進した姿で鹿嶋駅伝を走ろうと思っています。



昨年より一歩前進した姿で走ってやきたいです。

2014年1月19日（日）の鹿嶋市駅伝大会の10kmの部に出場します。2013年に続いて2回目の参加です。震災前まで20年間参加していた








交流会一覧



子どもから大人まで男女問わず、茨城で暮らす岩手・宮城・福島の方が対象です

開催日時	地域	イベント	会場	参加費	主催	申込み・問い合わせ先
2月1日(土) 10:00-14:00	日立市	「ヘアメイクサービス&パステルアート体験」 お母さんはヘアメイクでプチ変身、お子さんと一緒に作品づくり	福祉プラザ 2階	200円	ママ会 (旧被災者ママの会) メイクチーム LOVE for earth	090-3642-8577 mamacare@toropi.com (ママ会代表 古内)
2月9日(日) 13:30-	水戸市	「手前味噌作りをしましょう」 会で栽培した有機無農薬大豆や米麹を使用しての味噌作りです	水戸市大場市民センター	300円	一般社団法人 茨城県生きがいつく り協議会	029-247-8158 090-5427-9806 kyoki@wine.plala.or.jp (白石)
2月9日(日) 10:00-15:00	つくば市	「2014年だよ!全員集合!芋煮会」 ~つくxしま冬カルタ~ カルタ、芋煮、餅つき	松代交流センター	200円	tsukuba for 311	tsukubafor311@gmail.com (福井)
2月9日(日) 10:00-16:00	水戸市	◎避難指示区域の宅地、建物、田畑の賠償説明 10~12時 ◎損害賠償全般の相談 13~16時 ※事前予約制	茨城県県民文化センター	無料	原子力損害賠償 支援機構	0120-330-540 予約受付時間9:00~17:00
2月22日(土) 10:00-14:00	那珂市	「自前麹でお味噌づくりを」 丹波黒豆で味噌作りとお喋り会	内宿農村 集落センター	500円	NPO法人 おたがいさま	携帯 090-6702-5138 FAX 0294-72-7260 (只野)
2月22日(土) 9:30-12:00	日立市	「みんな笑顔で身体も心もリフレッシュ」 ストレッチ体操、親子体操、 骨盤エクセサイズ、リンパマッサージ	県北生涯 学習センター	300円	H. I. F (Happy Ibaraki Fukushima)	080-3459-7171 (石田) hifproject@i.softbank.jp 029-353-8560 (天井)
2月23日(日) 10:00-15:00	つくば市	「しゃべり場」 お喋りと、当日は浪江町健康保険課の 講話を予定しています	桜老人福祉センター	無料	元気つく会場	090-7790-9574 090-7076-2374 (古場)
3月9日(日) 10:00-	水戸市	「第3回蕎麦打ち会」 会で栽培した有機無農薬の蕎麦粉 を使用しての蕎麦打ち会	水戸市稲荷第2 市民センター	300円	一般社団法人 茨城県生きがいつく り協議会	029-247-8158 090-5427-9806 kyoki@wine.plala.or.jp (白石)
3月15日(土) 10:00-15:00	牛久市	「早春のピクニック」 子どもは里山の自然を満喫 大人はちょっとリラックス	牛久自然観察 の森	1家族 300円	福島乳幼児妊産婦 ニーズ対応プロジェ クト茨城	029-228-8427 ibarakifukushima@gmail.com
毎週土曜日 9:00-11:30	那珂市	「野菜づくりとお喋り会」 春(ジャガイモ、カボチャ、ナス、きゅうり等) 秋(白菜、大根、さつまいも、丹波黒豆)	ふくしま・ ふれあい農園	1家族 半年1000 円他保険 金	NPO法人 おたがいさま	携帯 090-6702-5138 FAX 0294-72-7260 (只野)

福島県から派遣されている職員の方との交流・相談

平日 9:00-17:00	県南地域	つくば市を中心に県南に転入学した小中学校 の児童生徒・保護者の相談をしています	つくば市立 並木小学校	つくば市立並木小学校 星野先生 (福島県より派遣)	029-851-2806 (星野)	
毎週木曜日 9:00-17:00	県央・県 北地域	県外から県央・県北地域の小中学校に転入学 した児童生徒や保護者の相談や 16~17時には交流会も随時開催しています (進路、福島情報、福島の人に会いたい等)	水戸市総合教育 研究所	水戸教育事務所管内 被災児童生徒支援相談員 蛭田先生 (福島県より派遣)	029-244-6730 (蛭田)	
平日 9:00-17:15	茨城県	福島県からの避難についての問い合わ せ。皆様の交流会への参加も相談ください		茨城県災害対策本部福島支援班 早坂さん (福島県より派遣)	029-301-5977 (早坂)	

きしましたる。

収穫祭と味噌づくり

11月30日に那珂市にある内宿農村集落センターで「ふくしま・ふれあい農園」の仲間等25名で芋煮会を行いました。ふれあい農園で栽培した里芋、大根、白菜、ネギ、シタケ、手作りの丹波黒豆味噌等と購入した野菜やお肉や調味料を大鍋で約1時間半煮込み、他にも金砂赤土の常陸秋そば本場のそばがきもいただきました。芋煮会の時間は相双地域の言葉で賑やかな時間に。現在、龍ヶ崎市にお住まいの浪江町の方も参加し、“久しぶり”と懐かしくお話がはずんでいました。年明け1月には麴づくり、そして2月には味噌づくりを予定しています。また、「ふくしま・ふるさと農園」は野菜づくりと各種交流会を毎週土曜日の午前中に行っています。希望者は「NPO おたがいさま」(090-6702-5138)までご連絡いただければ幸いです。(NPO 法人 おたがいさま 只野)

みんなで採ったもんで作った料理、んめーなあ。



「ふくしま・ふるさと農園」の仲間です。

10月は「かなま笑学校」に泊まりました〜。



マルシェのハロウィンパーティー

茨城県牛久市岡見町にある「グラスランツ マルシェ、オーク」みんなの居場所・マルシェ村を12月9日のオープンを前にお借りして龍ヶ崎近辺に避難されている幼児・小学生のお子さん22人とお菓子のつかみどり、仮装、ミニバザー、キッズスペースのミニハウスで遊んだり、村長さんのキッチンカーのカフェにてドリンクを美味しく戴きました。

マルシェ・オーナーの加藤さんご夫婦の教員経験（旦那様は美術、奥様は国語♪）を生かした教育・進路相談、手作り作家さん達の委託販売ブース、ギャラリー、レンタルスペース、ワークショップ、木工品オーダー、バーベキュースペースなどなど、福島県の方も茨城の方も気軽に自由に立ち寄れる「居場所」になっていきそうです♪(3.11 支援チームりゅうのしっぽ 三井)

村長さんのドリンク、美味しい!!



ハロウィンパーティーの衣装にお着替え中…

行って

浪江町十日市祭見学ツアー

11月23日、秋晴れの絶好のコンディションの下、総勢37名の大所帯で浪江町十日市祭見学ツアーに行ってきました。

浪江町の十日市祭は、町の産業振興と経済発展を目的に、明治初期に始まったとされる町民による手作りイベントです。

原発災害により浪江町民は全国に散らばってしまいましたが、十日市祭は二本松において「復興なみえ町十日市祭」として受け継がれ、多くの町民の再会の場となっています。

私たちつくばに避難中の「元気つく場会」の皆さんも、懐かしい旧友との久しぶりの再会や、復興のため頑張る町の姿に触れることができ、またひとつ元気を取り戻すことができましたようです。今後もこのような活動を続け、完全復興の日まで頑張りたいと思います。(元気つく場会 古場)

B-17 グランプリ
2018 日本一になりました!!



ビール工場の見学



浪江小児童による太鼓の演奏

取手・南相馬・双葉浜通りの集いの例会

取手市に移り住んでいる福島県民と取手市民による「取手・南相馬・双葉浜通りの集い」は平成23年10月設立以来2年目を迎え、今まではほぼ毎月、第三土曜日に例会を続けてまいりました。

11月16日の例会は取手市老人福祉センター「さくら荘」で開催。23名が参加し、「戸頭お休み処」のボランティア3人のプロ顔負けの南京たますだれと手品を観賞しました。施設内には入浴設備もあり、食事とカラオケ等楽しいひと時を過ごしました。また、1月18日には水戸の幼稚園～高校生のダンスチーム「ひっぱりだこ」をむかえて交流会を企画しております。お問い合わせは私、三浦 (090-8785-1766) まで。(取手・南相馬・双葉浜通りの集い 代表：若松 八郎 世話人：古内 忠 三浦 邦夫)



南京たますだれ
プロ顔負けの南京たますだれ
11月25日



茨城のいろんな所を発見するためにお散歩に行ってきました。

茨城お散歩

今回の目的地は
高萩市の花貫溪谷！



花貫溪谷
高萩市大能地内
0293-23-7316

石田夫妻 浪江町から日立市へ おたより編集メンバー



子供が産まれて
初めて2人で
お出かけしましたーo

totoBIG 当たったら
内緒でいなくなる予定o

10:00 出発

初の花貫ワクワク。
途中数か所、花貫溪谷案内看板あり。

10:10 花貫ダム到着

あいにくの曇り空でしたが、紅葉が残っていて綺麗でした。
水面にうつる木々素敵～。なんだか心が落ち着きます。
ちなみに日本では珍しく海が見えるダムとして有名ならしいが、見逃しました…(泣)



10:45 不動滝、乙女滝到着

森の中に滝が2つあり、上の方にあるのが乙女滝、下にあるのが不動滝。
小さい滝だったけど、水の勢いが凄かったよ！
(滝に行くまでは濡れた落ち葉で足元が滑りやすかったので、ゆっくりゆっくり)
河童が住むと言われているらしいですが、この日は会えませんでした。ごんねん



11:20 汐見滝吊り橋到着

今回の1番の目的地、汐見滝吊り橋に到着(滝から徒歩15分弱)
(寒いと思って厚着をしてきたのに汗かくです。)
吊り橋を覆う木々と、落ち葉のジュータンを踏みながら渡る橋は格別！



高萩市キャラクター
はぎまる発見！
なでなで



totoBIG
当たります
よーに



橋の上から汐見滝も見えますよお。 *ぜひぜひ*

歩いていたら謎の標識発見！
なににビックリなのか?? まさか… *河童に注意っか!*



ユラユラ揺れるっ



せっかくなので
2ショット写真を撮っていただきました♡



花貫溪谷1番の目玉! 渾身の1枚!

キレイな景色と水の流れる音
そしてたくさんマイクストーンを浴びながらの散歩は最高!
気分もリフレッシュできて、運動不足の方にもおすすめ!
帰り道下りた所に食堂を発見しましたが
混んでいたのでもう次回行きたいと思います。
たまには思い切って外に出てみては!?

今度はどこに散歩行こうかな

んだったのか!?

専門家に聞く 第3回

子どもの健康と放射能

原発事故を通じて放射能の影響について、多くの人が身近に考えるようになりました。茨城に住んでいる人も、特に小さな子どもがいる世帯や、ホットスポットの周辺に住んでいる人にとっては、気になることではありますが、茨城県内は放射能に関する情報や相談できる場所が少ないという課題があります。原発事故当時、福島にいた場合は、なおのこと、検査や健康管理に気をかけておられるのではないのでしょうか。行政機関をはじめ、いろいろなところで検査を行っていますが、今回は、NPO 法人 CRMS 市民放射能測定所 福島という市民団体がやっている取り組みを紹介します。

市民放射能測定所福島とは、どんな団体ですか？

福島市を拠点に活動している NPO 法人です。食品の放射能測定やホールボディカウンタによる体内残留放射能測定、子ども健康相談会、子どもたちの生活環境測定を行っています。わたしたちは、市民へ放射能防護の知識と判断材料を提供するために、民間からの寄付を財源に自主的にこうした活動を行っています。

ホールボディカウンタ測定はどのような内容ですか？

ホールボディカウンタによる 10 分間の測定で検出下限値はセシウム 1 核種 150 ベクレル程度（体格により変わります）、20 歳未満の方や妊婦の場合は無料です。（20 歳以上は 3000 円）特に高校生や大学生など若い人たちの測定に力を入れています。測定は、より精密に行っているため、体内に残っているセシウムが検出されることもあります。食品などに留意した生活をしながら継続して測定することで、体内セシウム量の変化も確認できると、どういう生活をすればいいかがわかり、それが安心につながるようです。

子ども健康相談会はどんな内容ですか？

福島以外でも、全国各地で、県外避難者向けの健康相談会の開催に向けた支援をしています。相談では、ホールボディカウンタ測定結果や甲状腺検査の結果の読み取り方をはじめとして、今後の生活のアドバイス、子どもの成長発達の悩み、お母さん自身のストレスの解消等、

時間をかけてじっくりと話しが出来ます。

特に、県外の健康相談会は、福島から離れ、「放射能」と「健康」に関して相談する機会が少ない人たちを対象としています。放射能汚染という事実をとらえつつ、避難生活の不安を和らげ、希望者には避難先の医療機関を繋いだりしています。各地で生活しやすい状況をつくるために行っていることです。

茨城県民や、茨城に避難している方々にメッセージをひとこといただけますか？

不安を抱えたままでは、測定をうけたり相談したりして、どのように生活していけばリスクを減らせるかがわかると、不安やストレスもおおのずと減らすことができます。

今後も、行政から独立した第三者機関として活動していきますので、運営面でもご協力頂ければと思います。

健康相談会のパンフレット



連絡先

NPO 法人 CRMS 市民放射能測定所 福島
960-8034 福島市置賜町 8-8 パセナカ Misse 1F
電話 024-573-5697 FAX 024-573-5698
(土日祝日も午前 11 時から午後 18 時まで受付。
水曜定休。行事の際は不定休もあります。)

東海村の村松にある虚空蔵堂です。本尊である「虚空蔵尊」は弘法大師が自ら彫られたものだそうです。小さい頃の私は「村松のこくぞうさん」と聞き覚え「こくぞうさん」といってうちよつと田舎な(?)「人」に由来があるんだろなと大きくなるまで勘違いをしていました。(ひたちなか市 80代)



鹿行地域(鹿嶋市、神栖市、銚田市、潮来市、行方市)の初詣といえば「鹿島神宮」。全国の鹿島神社の総本社で、紀元前 660 年から歴史があり、今年は 12 年に 1 度の「式年大祭」もあります。(鹿嶋市出身・30代)

いわき市にいた頃には飯野八幡宮に行っていました。9月にやる流鏝馬も凄かったですよ。(いわき市から土浦市へ)

常総市周辺に住んでいる人は、一言主神社が多いかな(常総市・40代)

Q. 初詣と言ったら？

震災前は毎回南相馬市小高区にある「小高神社」に初詣に行っていました。空に限りなく近い感じのいつ訪れても清々しい空気感が、とても好きで、初詣に限らず思い立ったらいつでもお参りしていました。今は笠間稲荷神社に詣でています。小高神社ほどの突き抜けた空気ではないけれども、重圧な雰囲気、また違った魅力を感じています。(富岡町から東海村へ・40代)

茨城に暮らす皆さんに聞きました！

健康のこともそうですが、様々なことを我慢せざるを得なかったために抱えたストレスや運動不足の影響の方が心配です。(土浦市・40代)

目の前にある人や土地とのつながりを大切に健康で元気でいてほしい。(植葉町から鹿嶋市へ・50代)

子どもたちの甲状腺への影響は5~6年後に出てくると言われているので甲状腺エコーの検査を行政でも手軽にできるようなシステムを作してほしいです。茨城は個人の団体さんが頑張っています。(^^)v ありがとう！みんな受けようね。(浪江町から東海村へ・50代)

Q. 原発事故の影響で子どもたちに対して心配することは？

避難によって子どもたちは両親に負担をかけまいと気を使いやすい場面が多いのではないのでしょうか。通勤族だった私は、親や友人に話を合せることが多かったように思います。そのため、自分の気持ちを周りに伝えられるように成長ができるかが心配です。お互いの気持ちを共有する時間を持ってほしいと思っています。(水戸市・20代)

健康についてはもちろん不安があるのですが、『心』についても心配です。地元と実家と呼べる場所を失い。突然の転校、祖父母や友達との離れ離れになったこと。自分の子ども達の将来の心配もかなりあります。(浪江町から日立市へ・30代)

編集後記

震災後、福島に住み慣れた古里を追われ、3回目の正月、まだ生家で帰郷した兄弟と過ごせない。春は、山菜、竹の子取りと苺の収穫、溪流釣り。夏は、港で子供と猫を連れてイワシ釣り、川で鮎釣り、墓参り。秋は、畑で芋ほり、桃、栗、柿、山で松茸とり。冬には薪ストーブで餅を焼いて食べた。自然と遊べる、いい所だ。町の広報では出生届より5倍も死亡届のほうが多い、という。このままでは町がなくなってしまう。放射能のせいで町の復興が進んでいない。いつ戻れるのだろうか、戻るころには高齢の親、叔父、叔母たちは・・・という思いを抱えながら迎える正月である。(おたより編集委員 渡部)

ふうあいねっとの紹介

「ふうあいねっと」は震災がきっかけとなって茨城の各地で活動し始めた人が集ってできたネットワークです(現在 28 団体が加盟)。仕事、年代、性格も実に多様な方が出入りして、いろいろな情報を集めて届けながら、人のつながりをつくっていければと活動しています。「ふうあいおたより」の発行もそのひとつです。

10月から福島の方も編集に加わり、話し合う中で新たな情報誌をつくっています。「こんなことがしたい」という声と、「人のつながり」があれば、いろんなことができます。どんな「想い」や「声」でも受けとめたいと思っています。

おたよりの感想、要望や質問、活動の提案など「ふうあいおたより」編集部までお聞かせください。皆さんの「声」を今後の編集や企画の参考にさせていただきます。

連絡先:「ふうあいおたより」編集委員会 天井・大野・横田まで
住所:水戸市梅香 2-1-39 茨城県労働福祉会館 2 階
電話:029-353-8560 (月~金 9~18時)
FAX:029-300-4320 (24時間ok)
メール:fuai.sta@gmail.com